

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	にしなすの 一般国道4号 西那須野道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	とちぎけん なすしおぼらしさんくちよう 自：栃木県那須塩原市三区町 とちぎけん なすしおぼらしにしとみやま 至：栃木県那須塩原市西富山			延長	4.6 km	
事業概要	<p>一般国道4号は、日本橋を起点とし、宇都宮、郡山、福島、仙台、盛岡を経て青森市に至る主要幹線道路である。西那須野道路は、一般国道4号の那須塩原市街地の混雑緩和と安全性の向上、地域活性化等を目的とした延長4.6kmの4車線のバイパス及び現道拡幅事業である。</p>					
H18年度事業化	S42年度都市計画決定 (H一年度変更)	H21年度用地着手	H一年度工事着手			
全体事業費	約165億円	事業進捗率	67%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	14,700~30,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 3.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 60/172億円 事業費：50/162億円 維持管理費：11/11億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 192/192億円 走行時間短縮便益：167/167億円 走行費用減少便益：14/14億円 交通事故減少便益：12/12億円	基準年 平成28年		
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量：B/C=1.0~1.2（交通量 ±10%）【残事業】交通量：B/C=3.0~3.5（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.1~1.1（事業費 ±10%） 事業費：B/C=2.9~3.5（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=0.97~1.3（事業期間±20%） 事業期間：B/C=2.8~3.4（事業期間±20%）</p>					
事業の効果等	<p>①交通混雑の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> 西那須野道路に並行する国道4号（現道）の損失時間は、86.1千人時間/年・km。 烏ヶ森公園入口～三島（北）交差点間が主要渋滞区間に特定。二区、（仮称）西富山バス停、（仮称）西山南交差点も主要渋滞箇所に特定。 西那須野道路の整備により、現道区間の交通が当該道路に転換され、渋滞緩和が見込まれる。 <p>②安全・安心な通行の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 西那須野道路に並行する国道4号（現道）の死傷事故率は、80.2件/億台・km。 西三島交差点の死傷事故率は、318.0件/億台・kmとなっている。 事故類型は追突による事故が多く、全体の約8割を占める。 西那須野道路の整備により、現道区間の交通が当該道路に転換され、交通事故の減少が見込まれる。 <p>③地域活性化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 西那須野道路の周辺地域は、東北自動車道の西那須野塩原ICへのアクセス性が良く、沿道には多くの工業団地が集積し、国道4号の大型車混入率（32.0%）が高い。 大型車の多い国道4号では西那須野道路の整備により、東北自動車道へのアクセスが向上し、地域開発の活性化や物流効率性の向上を支援する。 					
関係する地方公共団体等の意見	<p>・栃木県知事の意見： 一般国道4号は、本県の発展を支える重要な広域幹線道路であり、これまでも機能強化や渋滞対策を要望してきたところです。つきましては、西那須野道路の早期完成に向け事業を継続していただけるようお願いいたします。なお、事業の進捗にあたっては、引き続きコスト縮減に努めていただきますようお願いいたします。</p>					
事業評価監視委員会の意見	<p>事業の継続を承認する。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>東北自動車道黒磯板室ICの近辺にアウトレットモールが立地し、休日の周辺地域の交通量が増加が見込まれる。</p>					

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成18年度に事業化、用地進捗率84%、事業進捗率67%（平成28年3月末時点）
今後、引き続き用地の取得を推進するとともに、早期開通に向け事業促進を図る。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

栃木県の第5期無電柱化推進計画を受け、平成19年度に無電柱化を電線管理者と追加合意。
平成27年度、電線管理者と協議した結果、電線共同溝による無電柱化が確定したため事業費を増加。
引き続き用地の取得を推進するとともに、早期開通に向け事業促進を図る。

施設の構造や工法の変更等

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、地域開発の活性化等の観点から、事業の必要性、重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。



事業概要図



凡 例	
—	供 用 中
.....	事 業 中
////	再評価箇所



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。